

《教養科目》

科目名	キャリア教育				
担当者氏名	田中 政巳、馬場 和久、キャリア委員長、専任教員				
授業方法	講義・演習	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

2年間の短期大学での学びを通して、建学の精神・教育方針に対する理解を深め、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に挙げた能力を身につけ、キャリア形成能力を高める。そのために、チュートリアル・フィールドワーク・グループワークなど様々なアクティブラーニングによる授業を展開する。

《テキスト》

キャリアノートブック

《参考図書》

大野 誠「敦照のこころ」現代書林1995  
他、担当者の指示による

《授業の到達目標》

建学の精神・教育方針の重要性を説明できる。  
社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につける。  
現代社会に必要な教養とマナーを身につける。  
体育大会・五峯祭などを通してチームワーク力を構築する。  
フィールドワークを通してコミュニケーションスキルを高める。  
自身のキャリアについて考えることができる。

《授業時間外学習》

授業内で学んだことを通じて、他の全ての科目において学ぶ目的を明確にし、充実した大学生活に結び付けられるように意識する。  
毎回の授業について、1時間の授業時間外学習（予習・復習）が必要である。

《成績評価の方法》

レポート60%、授業に対する参加態度40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

レポートについては適宜フィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	「建学の精神」と「教育方針」：学長	建学の精神を理解する。知識基盤社会の特質について学ぶ。〔準備学習〕「敦照のこころ」を読んでおくこと。知識基盤社会とは何かを事前に調べておくこと。
2	栄養士・調理師への学び	栄養士・調理師を目指すための学びについて理解する(学生部長、教務部長、学科長、担任他)。
3	栄養士・調理師への学び、学生と法制度	様々な分野で、栄養士・調理師が果たす役割について理解する(学生部長、教務部長、学科長、担任他)。学生が知っておくべき法制度について理解する(外部講師)。
4	スポーツとチームワーク：古木准教授他	体育大会を通してチームワーク力を高める。 〔準備学習〕「健康・スポーツ」で競技のルールを理解しておくこと。
5	食の基本、日本の食料システム：関東農政局	栄養士や調理師と密接に関係する、食の基本となる食料の生産、加工、流通、消費の現状と問題点を、これらとSDGsとの関わりとともに知り、理解する。
6	学年交流研修：クラス担任他	学年交流研修として学外でのフィールドワーク(農業作業体験)を行い、専門分野に関わる教養を高める。〔準備学習〕研修のしおりをよく読んでおくこと。
7	就活講座：キャリア委員長	キャリアデザイン・アンカーとは。進路活動における自分の価値観(譲れない事項)等を明確化する。〔準備学習〕キャリアノートブックの目次、P6を読んでおくこと。
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《教養科目》

科目名	キャリア教育				
担当者氏名	田中 政巳、馬場 和久、キャリア委員長、専任教員				
授業方法	講義・演習	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

2年間の短期大学での学びを通して、建学の精神・教育方針に対する理解を深め、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に挙げた能力を身につけ、キャリア形成能力を高める。そのために、チューリアル・フィールドワーク・共同学習など様々な授業形態で授業を展開する。

《テキスト》

大野 誠「敦照のこころ」現代書林1995  
他、担当者の指示によるキャリアノートブック

《参考図書》

大野 誠「敦照のこころ」現代書林1995  
他、担当者の指示による

《授業の到達目標》

建学の精神・教育方針の重要性を説明できる。  
社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につける。  
現代社会に必要な教養とマナーを身につける。  
体育大会・五峯祭などを通してチームワーク力を構築する。  
フィールドワークを通してコミュニケーションスキルを高める。  
自身のキャリアについて考えることができる。

《授業時間外学習》

授業内で学んだことを通じて、他の全ての科目において学ぶ目的を明確にし、充実した大学生活に結び付けられるように意識する。  
毎回の授業について、1時間の授業時間外学習（予習・復習）が必要である。

《成績評価の方法》

レポート60%、授業に対する参加態度40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

レポートについては適宜フィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	協働と製作：クラス担任	五峯祭に向けて仲間と協働して準備を進め、内容を完成させる。（五峯祭準備期間1日目）（グループワーク）
2	協働と製作：クラス担任	五峯祭に向けて仲間と協働して準備を進め、内容を完成させる。（五峯祭準備期間2日目）（グループワーク）
3	協働と運営：クラス担任	五峯祭に仲間と協働して、企画の運営を行う。（五峯祭2日目）（グループワーク）
4	就活講座：就職支援企業	就活準備（就職活動の基本、自己分析・自己理解、仕事理解・志望動機）に必要なことを理解する。
5	就活講座：ハローワーク	求人票の見方（給与、賞与、休日、保険、福利厚生など）、履歴書のポイントや望ましい言葉遣いを知る。〔準備学習〕キャリアノートブックP52・55・56を読んでおく。
6	就活講座：学科キャリア委員、クラス担任	就職活動の進め方について、学生支援センターの利用について、学内求人検索について。〔準備学習〕キャリアノートブックP57・58を読んでおくこと。
7	就活講座：学科キャリア委員、クラス担任	履歴書の書き方について。自己分析と自己PR、身についた能力、写真の撮り方、学内求人検索について。〔準備学習〕キャリアノートブックP57・58を読んでおくこと。
8	就活講座：卒業生による講話	社会人になって必要な能力について。そのために学生時代にやっておくべきこと。就職活動体験談を聞く。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		